

「社会保障の解体は許さない！憲法まもりいかす社会をつくろう！！」

# STOP！介護改悪 介護ウェーブ2016推進ニュース

## －介護の Big Wave を広げよう！－



### 5/25 国会議員要請行動をおこないました



いよいよ通常国会も6月1日で閉会。今国会最後の行動には13県連49名の仲間が集まりました。午前中は全日本民医連・林次長より「介護をめぐる情勢」と題して学習会がありました。

昨年の見直し後、予防給付の見直しや一部利用料の2割への引き上げなど、介護サービスの新たな削減や負担増は、利用者に様々な困難をもたらしています。5月18日、政府は「一億総活躍プラン」を発表し、「介護離職ゼロ」政策を改めて打ち出しました。月額1万円の給与引き上げをプランに盛り込んでいますが、全労働者平均と比べて月額10万円も低いのが現状であり、財源の裏付けもまだありません。厳しい人手不足が続く介護の現場には、抜本的な処遇改善が必要となっています。

国会情勢報告では参議院の倉林明子議員より、国会内で野党共闘が進んでいることが報告されました。

議員要請行動では、介護改善の請願書や参加県連独自に用意した「介護報酬改定影響アンケート」等をもとに47件訪問し、6人の国会議員と面会ができました。与党の議員秘書の方と30分近くも意見交換できたとの報告や、4/20の国会行動で「安心安全の医療介護」の署名の紹介議員になってくれると連絡をもらった民進党の議員秘書に挨拶に行くなど、参加者の予想外に議員(秘書)の対応が良かったとの感想が聞かれました。また、とある国会議員とは「SNSで広めましょうね！」と約束し、メッセージボードをもって国会議員といっしょにパチリ。



国会行動の資料をホームページにUPしています。学習にご活用ください。



## 参加者からの感想

もっと冷たくあしらわれると思っていたけど、私たちの話をよく聞いてくれた

「処遇改善費をもっと上げてくれ」と言ってほしいという意見してくれる秘書もいた  
政党に関係なく、介護職の処遇は共通の課題なんだなと感じた

自民党の秘書さんが、かなり長い時間話をしてくれた。他県の方とまわって、現場の厳しさ…離職、  
残業の状況を聞くことが出来て、改めて絶対変えていこうーと思えました。

## 各地の介護ウェブ情報を

### お寄せください！

推進ニュースを通して、全国で共有します。  
原稿記事と写真を添えて、全日本民医連  
事務局までお願いします。



社会民主党 福島みずほ議員とアクション！

はじめてで緊張したけど、こういうふうには私たちの意見が届けられるんだなと思い、いい体験ができました。

自分で伝えたい（理解してほしい、改善してほしい）ことを十分に伝えられなかったことが反省。  
次の国会で法案を提出させないためにも絶対に選挙に行きます。「棄権は賛成と同じキケンな行為」まさにその通りです。

被保険者の約7割を占める軽度者の方たちの行く末を決めるのだから、この夏からの半年は本当に運動の頑張りどころだと思う。

「介護保険制度の持続可能性の確保」は介護を必要とする人やその家族の暮らしの持続を考えているのではなく、  
財源の持続を検討しているだけ」との事前学習では憤りを覚えた。

一緒にまわった他県連の方があらかじめ「私たちの思いを聞いてください」のレジメと  
介護報酬改定影響アンケートをまとめて持参され、陳情の準備をして臨まれていることに感銘を受けた。

どれだけわかってくれるか不明ですが、声を上げていくこと、黙っては何も始まらないことづくづく実感しています。

## 山田部長の国会行動ワンポイントアドバイス！

少しの工夫で  
印象度アップを！

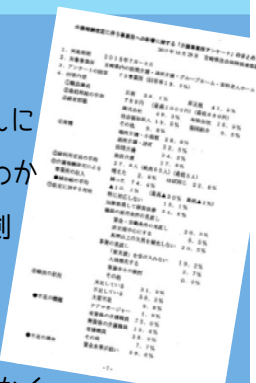
### 事業所のパンフレット持参で名刺代わりに！

まずはあいさつ。「〇〇市の特養☆☆です。地元出身の議員さんに  
ぜひちからになってほしいんです」議員さんは地元からだとわか  
ると、有権者の声を聞かなければとプレッシャーになり、真剣  
に聞いてくれます。

### 現場や利用者さんの声を集めよう 宮崎の社保協アンケート→

職場の仲間と協力して困難事例をまとめましょう。その場の訴えだけでなく、

あとで読んでもらえるように印刷物を用意。利用者さんの切実な声も入れるといいでしょう。



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：東、吉澤  
03-5842-6451 / fax03-5842-6460 E-mail: min-kaigo@min-iren.gr.jp